



プライム・ストラテジー株式会社

証券コード：5250

2024年11月期 第1四半期 決算説明資料



1. 会社紹介

2. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

3. 市場環境

4. 成長戦略

5. 四半期ハイライト

会社概要

マネジメントチーム

「KUSANAGI Stack」

事業内容

沿革及び業績動向

経営者の目から見た自社の強み

社名

プライム・ストラテジー株式会社
英文社名：PRIME STRATEGY CO., LTD.

設立年月日

2002年12月2日

所在地

〒102-0082
東京都千代田区一番町 8 番地 住友不動産一番町ビル 1 階

代表取締役

代表取締役社長 渡部 直樹

従業員数（連結）

21名(2024年2月末)

資本金

4.3億円（2024年2月末）

事業領域

KUSANAGI Stackの開発と提供

- 超高速CMS実行環境「KUSANAGI」
- 高速化エンジン「WEXAL[®] Page Speed Technology[®]」
- 戦略AI「ONIMARU[®] David」

KUSANAGI Stack事業

- KUSANAGIマネージドサービス
- クラウドインテグレーションサービス
- ライセンス販売

連結子会社

PRIME STRATEGY NEW YORK, INC.
(米国ニューヨーク州)

資本業務提携先



株式会社イントラスト 株式会社エアトリ



渡部 直樹 代表取締役 社長

2002年 東京金融先物取引所入所
2008年 株式会社飛鳥情報経済研究所設立
代表取締役就任
2018年 株式会社ビッグツリーテクノロジー &
コンサルティング入社
2022年 当社取締役就任
2023年 当社代表取締役社長就任



相原 知栄子 取締役 副社長
企画開発部管掌

2013年 当社入社
2016年 当社クラウドインテグレーション
事業本部 SI事業部 部長就任
2021年 当社 クラウドインテグレーション事業部
企画開発担当部長就任
2021年 当社取締役就任
2023年 当社取締役副社長就任



池宮 紀昭 取締役 副社長
クラウドインテグレーション事業部管掌

2008年 株式会社コナミデジタルエンタテインメント入社
2016年 AppMedia株式会社入社
2018年 当社入社
2020年 当社クラウドインテグレーション事業部 部長就任
2020年 当社取締役就任
2023年 当社取締役副社長就任



中山 勝美 取締役
経営管理部管掌

1986年 有限会社家庭教師センター学習館入社
1987年 東京アカウンティング学院株式会社
(現TAC株式会社) 入社
2012年 学校法人大阪歯科大学入職
2017年 当社入社 執行役員管理部長
2023年 当社取締役就任

小舘 亮之

大崎 理乃

社外取締役

添田 繁永 (監査等委員)

鈴木 隆之 (監査等委員)

森田 芳玄 (監査等委員)

「KUSANAGI Stack」

すべての過程で高速化する市場唯一の製品群

KUSANAGI Stack

超高速CMS実行環境「KUSANAGI」
高速化エンジン「WEXAL Page Speed Technology」
戦略AI「ONIMARU David」

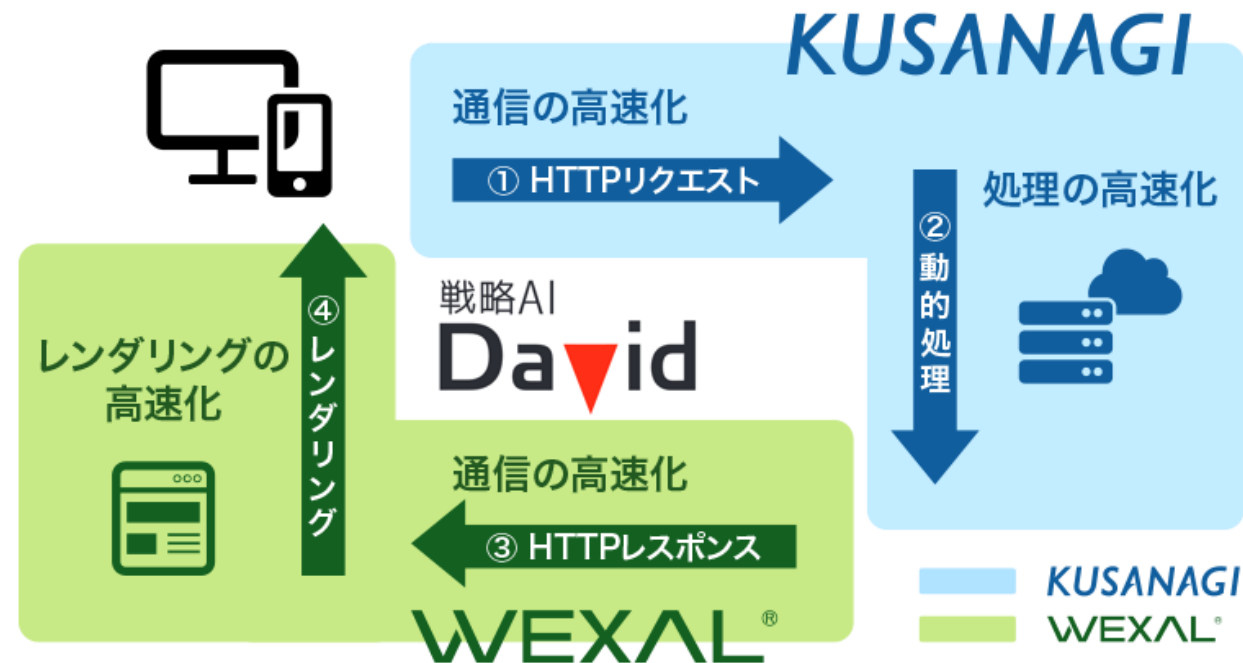


戦略AI「Onimaru® David」 特許協力条約の規定による
国際出願済み

29プラットフォームで展開※1
累計稼働台数8万台※2

SPEED & SECURITY & COST

画面表示するまでのすべての過程を高速にチューニング



※1：2024年2月現在
※2：2023年10月現在

「KUSANAGI」などコアとなる基礎技術・プロダクトの開発
AI・自動化などのテクノロジーを最大限活用した各種サービスの展開

ストック型ビジネスを中心に展開

ストック型ビジネス

ライセンス

売上比率 **15%**

有償版ライセンス

KUSANAGIのクラウド事業者を通じた世界販売



知的財産

ブランド/知的財産のライセンス提供

 XSERVER

GMO INTERNET GROUP

KUSANAGIブランド

国際特許申請済み
知的財産

KUSANAGIマネージドサービス

売上比率 **70%**

KUSANAGI+KUSANAGIの開発元としてのマネージドサービスの付加価値

単一のWebシステム保守運用サービス

顧客の単一のCMS等Webシステムの保守運用サービス

CMSプラットフォーム統合サービス

顧客の複数のCMS等Webシステムの統合管理サービス

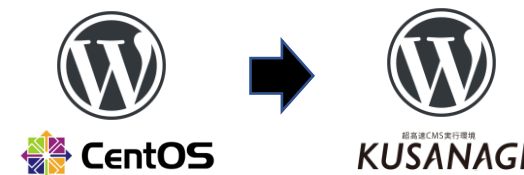
フロー型ビジネス

クラウドインテグレーションサービス

売上比率 **15%**

初期導入時のサービス

KUSANAGIマネージドサービス導入時のシステム移行



保守運用後のサービス

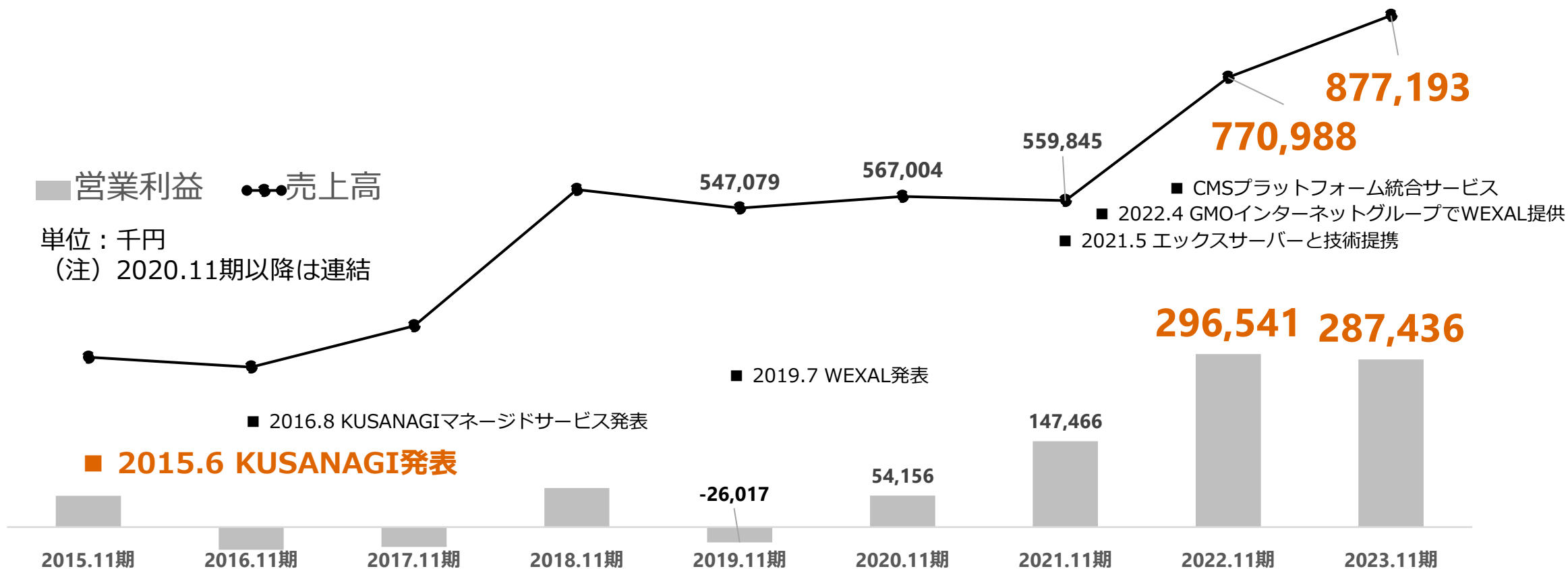
保守運用開始後の顧客Webシステムの追加開発

第1創業期 WordPress専門インテグレーター

WordPress専門インテグレーターとして、フロービジネスを展開。WordPress/PHP/Linuxに係る技術を蓄積し、2015年6月にKUSANAGIを発表

第2創業期 KUSANAGI Stack事業の展開

KUSANAGI Stackプロダクト群の開発およびストックビジネス中心の展開。自動化、AI化で利益成長フェーズへ



経営者の目から見た自社の強み

知的資本の
形成

ソフトウェアの
フリーミアムモデル
無料利用、広告宣伝の
コスト優位性

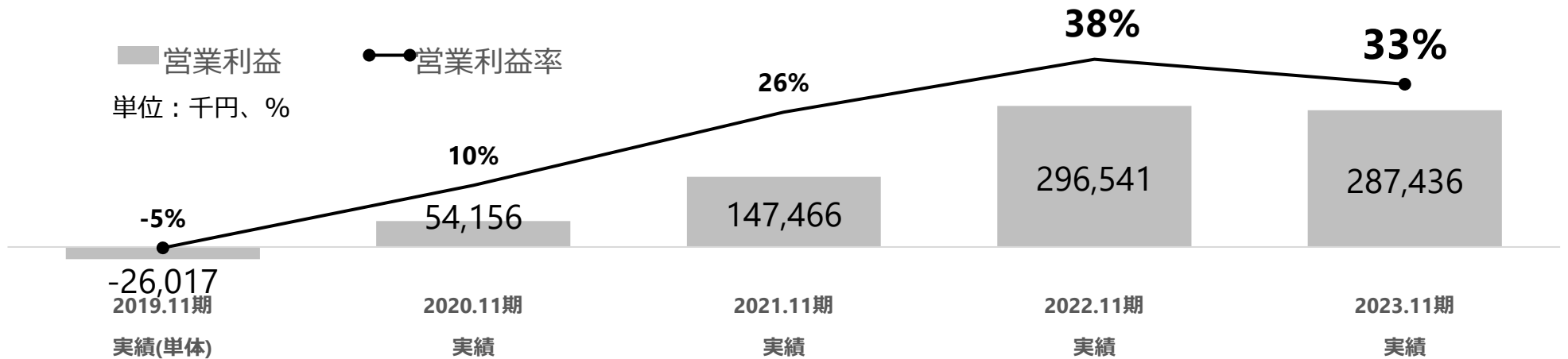
主要クラウドとの
パートナーシップ
AWS、Microsoft、
Google等11社

ハイパー
オートメーション
(AI等を用いた
高度な自動化)
高い生産性

OSからAIまで
先端技術の
開発体制

■ 営業利益
単位：千円、%

● 営業利益率



還元・再投資

知的資本の
発見

高い利益率
営業利益率
33%
2023.11期

高付加価値の
ストック型
ビジネスモデル
2024年2月時点
MRR 49,574千円

ライセンサーとして
知的財産権
を提供
2024年2月時点
MRR 11,515千円

利益成長率
CAGR74%
2020.11期
→2023.11期

1. 会社紹介

2. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

3. 市場環境

4. 成長戦略

5. 四半期ハイライト

CMS/WordPressとは

超高速CMS実行環境「KUSANAGI」

「KUSANAGI」のパフォーマンス

「KUSANAGI」のパフォーマンス比較対象の変更

Web表示高速化エンジン「WEXAL Page Speed Technology」戦略AI「David」

「KUSANAGI」の拡がり

KUSANAGIマネージドサービスの競争力

KUSANAGI利用拡大の背景

CMS / WordPressとは

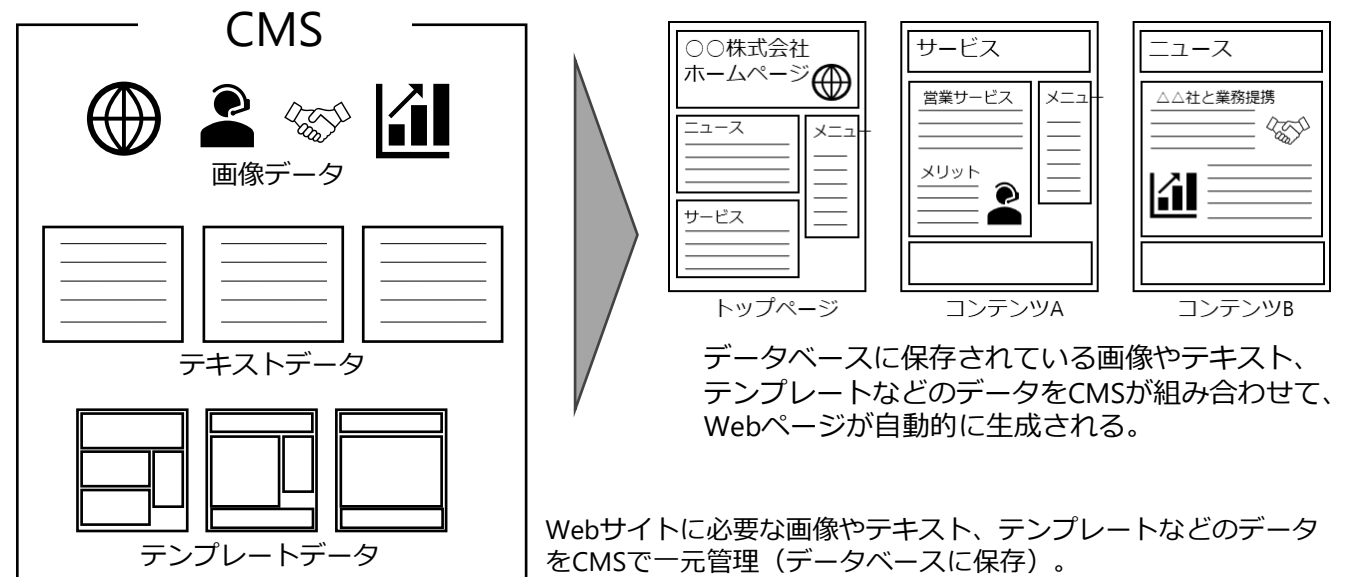
CMSとは、Webサイトに詳しくない人でもページの追加、更新ができるツール。文章や画像、レイアウトなどが一元管理され、効率的にWebサイトの運用ができる。WordPress（ワードプレス）は代表的なCMSの1つであり、世界中のWebサイトの**43%**がWordPressを利用して構築※されている。 ※2024年1月現在 [W3Techs](#)調べ

CMSを「導入していない」Webサイト



1ページずつ完成系のWebページのデータを作成し、保存・管理している。Webページを作成する専門知識が必要。また、共通部分に変更があった場合、すべてのページを修正する必要があるなど、運用にも工数がかかる。

CMSを「導入している」Webサイト



Webサイトに必要な画像やテキスト、テンプレートなどのデータをCMSで一元管理（データベースに保存）。

専門知識なしでWebページの更新・追加ができることから、企業サイトから個人サイトまで、広くCMSが利用されるようになった。



WordPress等のCMSやWebシステムを
高速かつ安全に動作させるための
OS(オペレーティングシステム)

29プラットフォーム
37カ国216リージョンで展開^{※1}
累計稼働台数8万台^{※2}



※1: 2024年2月現在
※2: 2023年10月現在

フリーミアムモデル

製品を無償提供することでプロダクトの認知度を
向上させ、運用保守サービスやライセンス販売等の
有償サービスへ繋げる戦略

無償版



有償版



「KUSANAGI」のパフォーマンス

AWS、Microsoft Azure、Googleなどパブリッククラウド等の
 インフラ上で利用する希少性の高いソフトウェア
差別化された独自性の高い当社の基盤となるプロダクト

KUSANAGI
 は、すべての
 レイヤーを
 高速化する



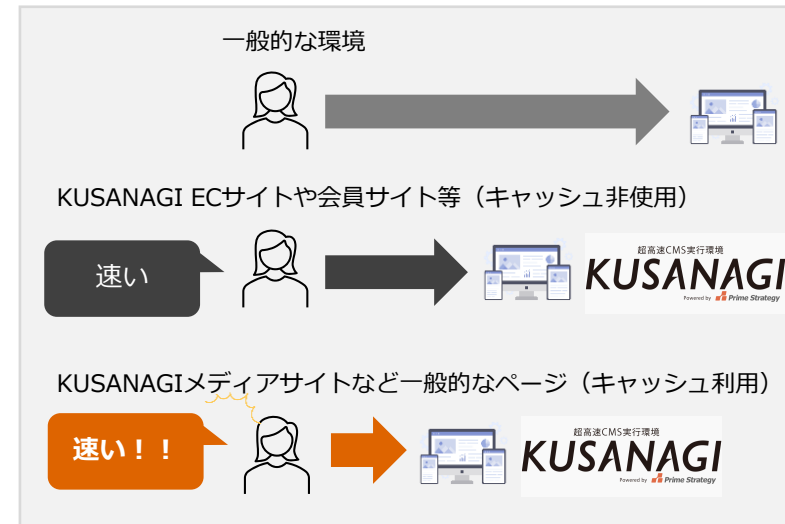
キャッシュサーバ



キャッシュサーバ(CDN)の利用で高速化もできるが限定的な高速化

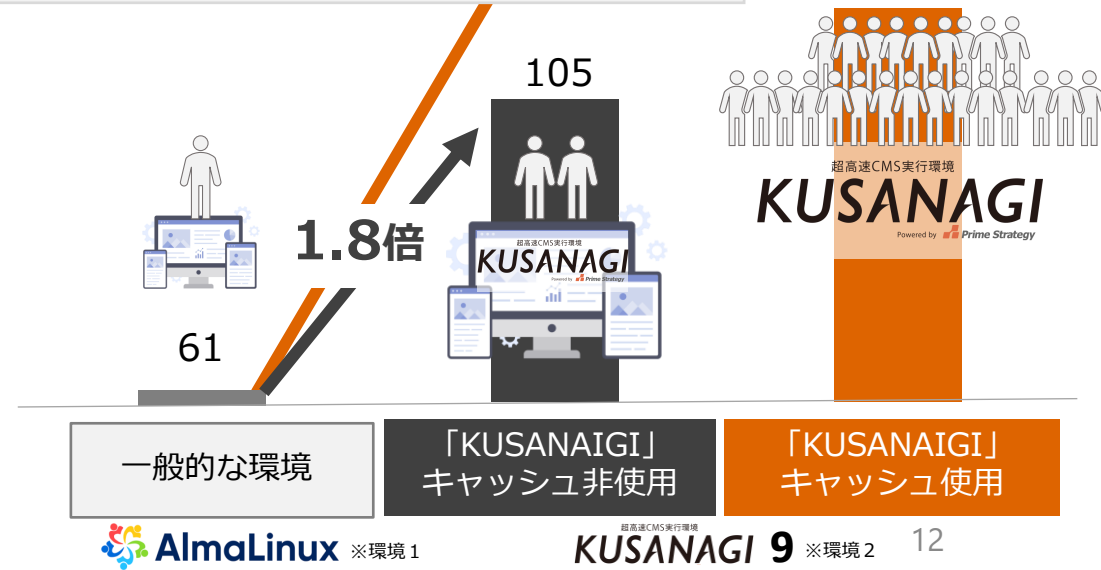
KUSANAGIはすべてのレイヤーを高速化
 ページキャッシュを利用しない場合でも高速化

1秒あたりの処理可能リクエスト数



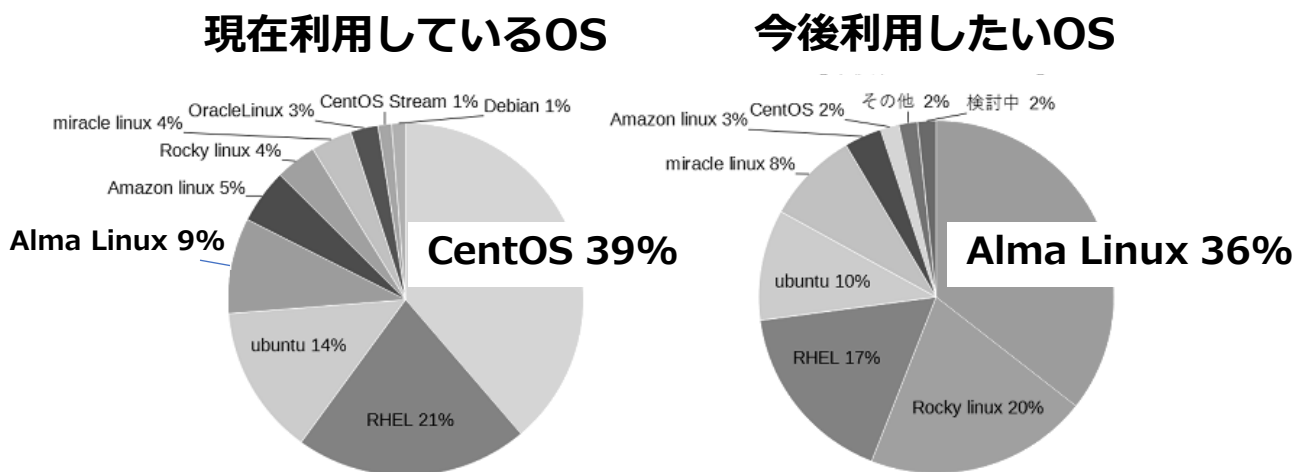
16,046

260倍



「KUSANAGI」のパフォーマンス比較対象の変更

これまで市場で多く利用されてきたLinux OS「CentOS」を対象にKUSANAGIとの性能比較を実施・公開しておりましたが、CentOSがEOL（サポート終了）を迎えることから、現在市場で多く利用されている「AlmaLinux」を比較対象に変更致します。



Linux利用企業の約4割が現在もCentOSを利用
一方、今後利用したいLinuxOSはAlmaLinuxとRocky Linuxが半数を占める結果に
(出典：デージーネット『今後利用したいLinuxOSについてアンケート調査』(2022年7月))

これまでのCentOSと比べ、処理性能が向上しているAlmaLinux 8との比較においても
ページキャッシュ非使用時 約1.8倍
ページキャッシュ使用時 約260倍
 のパフォーマンスを実現しております。(同じミドルウェアにした場合)

その他 KUSANAGI の性能・効能

■コスト削減：1/4のコストのVM(VPS)でも同等以上の性能を実現

一般的なクラウド環境でキャッシュ無しで、CPU性能が1/2、メモリ性能が1/4、ディスク性能1/10のVM(VPS)*でも同等以上の性能を実現します



■高パフォーマンス：表示速度8ms以下、秒間80,000件以上の処理性能を実現

同時接続1000の高負荷環境で、ページキャッシュ利用時に表示速度8ms以下、秒間80,000件以上の処理性能を実現します。 ※環境5

「KUSANAGI」のパフォーマンス比較対象の変更

CentOS (2024/06 EOL)
超高速CMS実行環境
KUSANAGI 9

▶

AlmaLinux
超高速CMS実行環境
KUSANAGI 9



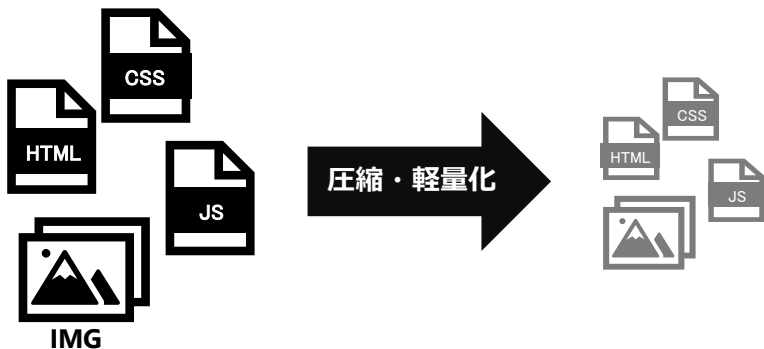
「WEXAL Page Speed Technology」は、Webシステムのための「高速化エンジン」。ブラウザ表示の自動チューニングを実施し、UX（ユーザー体験）の向上を実現します。

メリット

2

リソース最適化による高速化と転送量の削減

画像やJS、CSSのリソースを圧縮し、軽量化する。リソースの最適化により、表示の高速化だけでなく転送量を削減します。



メリット

1

戦略AI Davidによる最適化戦略の自動生成

戦略AI Davidがエンジニアに代わってブラウザの環境に合わせてページごとに最適化戦略を自動生成



戦略AI David 自動最適化

エンジニアが最適化に
悩む必要はない

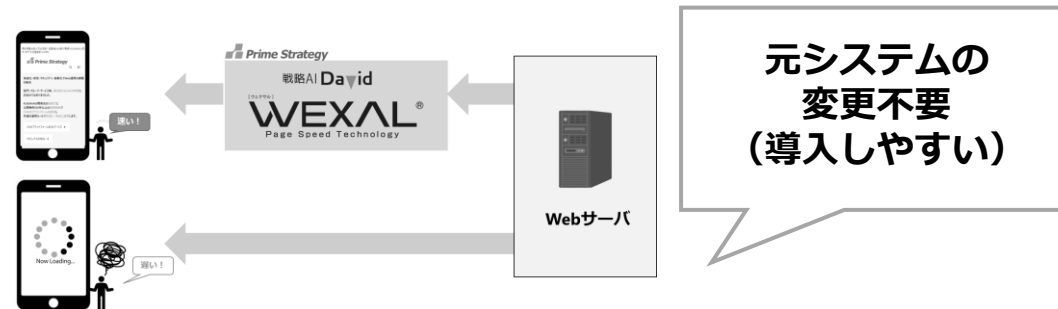


メリット

3

オリジナルデータの改変なし

オリジナルのリソースやプログラム、データベースに保存されているデータなどの改変は行わない。



世界で利用されるKUSANAGI

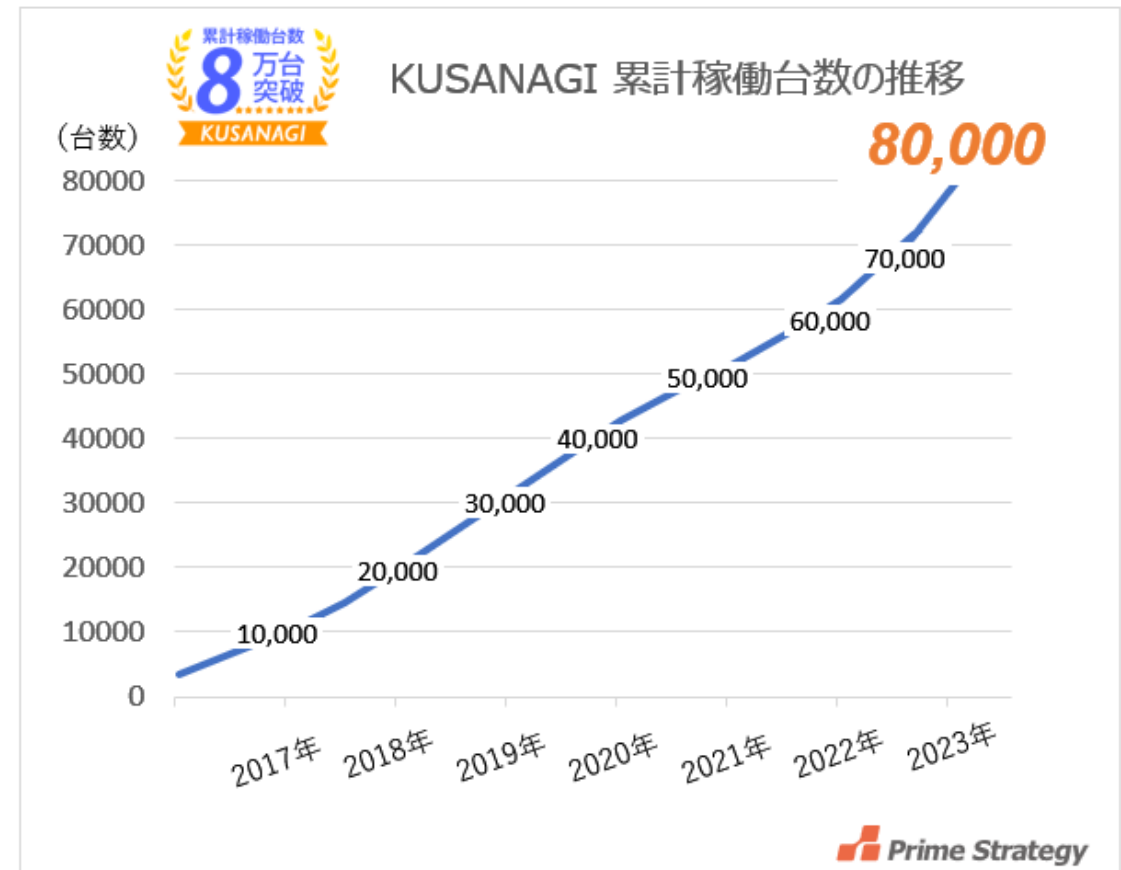
グローバルなCMS高速化ソリューションのデファクトスタンダードとして成長

(2023年10月現在)

国内外の主要な29プラットフォーム
37カ国216リージョンで利用可能 (2024年2月現在)



知的財産のライセンス提供



KUSANAGI マネージドサービスの競争力

KUSANAGI マネージドサービスとは企業向けWordPressサイトおよびサーバの運用管理まで行うマネージド型のサポートサービスです。マーケティング、Web担当者の方が本来の業務としているコンテンツ作成等に集中できる環境を提供します。

サーバ、ミドルウェアからアプリケーションまでの
一貫した保守で運用を手離れ



当社が開発したWebシステムでなくとも導入が可能



運用中のシステムをお持ちの企業様に広く提案が可能

契約顧客数 **107社**
(2024年2月現在)

KUSANAGI 利用拡大の背景

Webサイトの表示速度は、SEO対策の要素となっているだけでなく、表示速度低下がUXの低下を招くことで事業へ直接的に影響を及ぼします。Webサイト運営企業には表示速度の高速化ニーズが高く、またアクセス数増加に対応すべく、ニーズを満たすKUSANAGIの利用拡大に繋がっております。

Webサイト（表示速度）高速化ニーズ

SEO対策の必要要素として追加

2018年1月にGoogleがWeb表示速度を検索順位に反映させることを公表

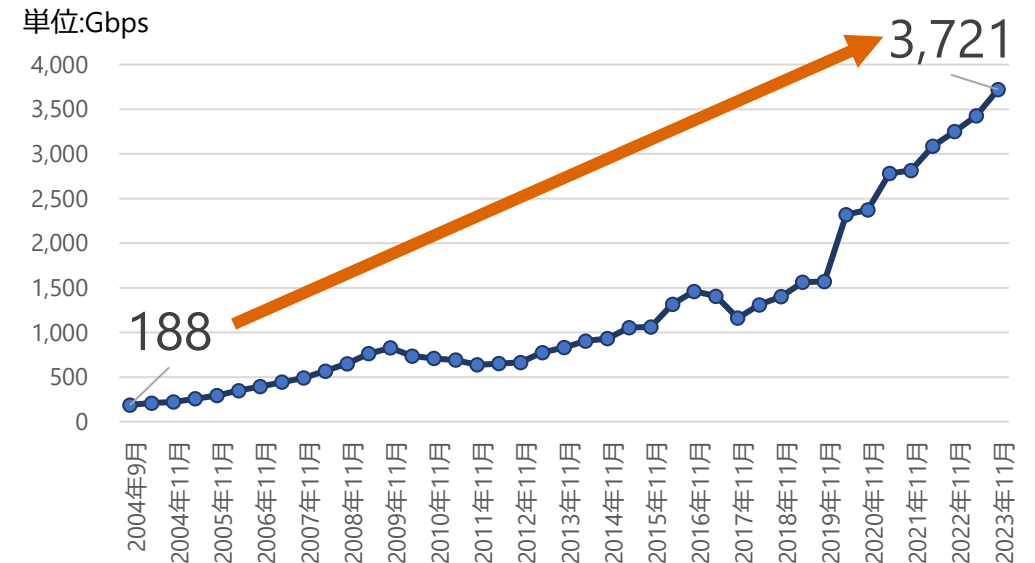
UX（ユーザー体験）低下への影響

Web表示速度によるユーザー行動の直帰率との関係では、ページ表示速度が1秒から3秒に遅延すると直帰率は32%増加し、6秒に遅延すると約2倍に増加すると予想され、直接的な機会損失として認識される



データ流通量（国内ブロードバンドサービス契約者の総トラフィック数（推定値））の推移

✓ データ流通量は、急激なデジタル化の進展とともに爆発的に拡大しているため、アクセス数増加への対応が必須



注釈：2017年5月から協力ISPが5から9社へ変更しているための不連続な数値
出典：総務省「我が国のインターネットにおけるトラフィックの集計・試算-2023年11月のトラフィックの結果の公表」
※上記出典データを加工して当社作成

1. 会社紹介

2. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

3. 市場環境

4. 成長戦略

5. 四半期ハイライト

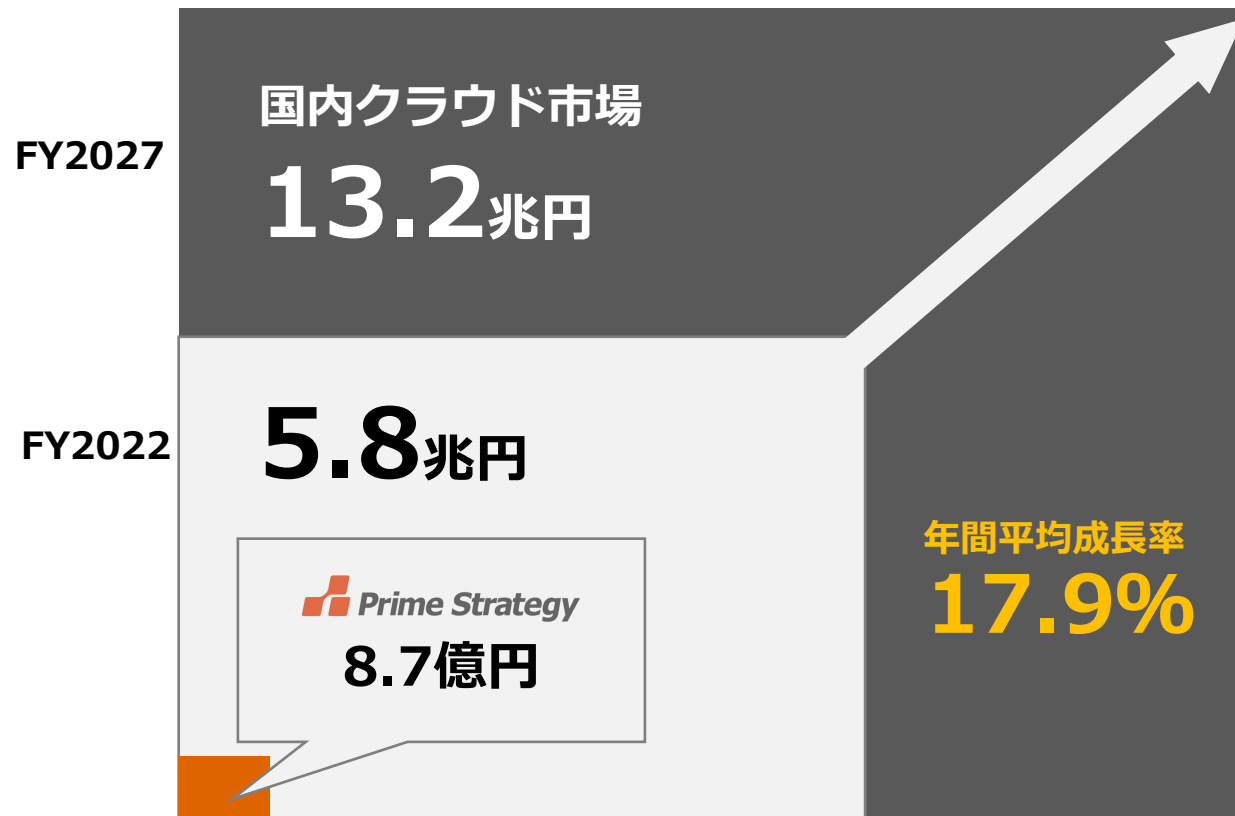
国内クラウド市場

マネージドサービスの国内潜在市場

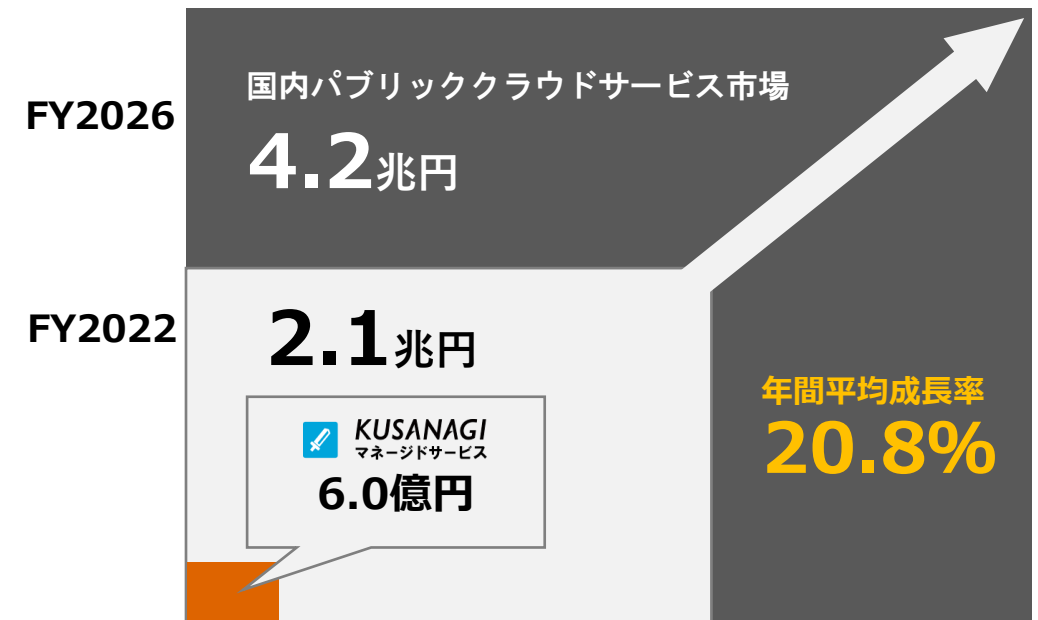
グローバルで見た
KUSANAGIライセンスの潜在市場

国内クラウド市場

国内クラウド市場は年間平均成長率が17.9%と予想されております。以前の「クラウド移行」から「クラウド高度利用」へニーズがシフトし、高い成長率が期待されています。高度利用の観点から当社プロダクト・サービスへの期待も高まり、市場の成長に合わせて当社グループの成長が期待できます。



KUSANAGIマネージドサービスに限定すれば国内クラウド市場の国内パブリッククラウド市場の国内PaaS市場 サービスセグメントに所属



マネージドサービスの国内潜在市場

当社の主要サービスである「KUSANAGIマネージドサービス」はWebガバナンス・デジタルガバナンスの観点から上場企業がターゲットになり、また高速化の観点からメディア企業や学校もターゲットです。



× 顧客単価 **454**千円/月
(2024年2月)

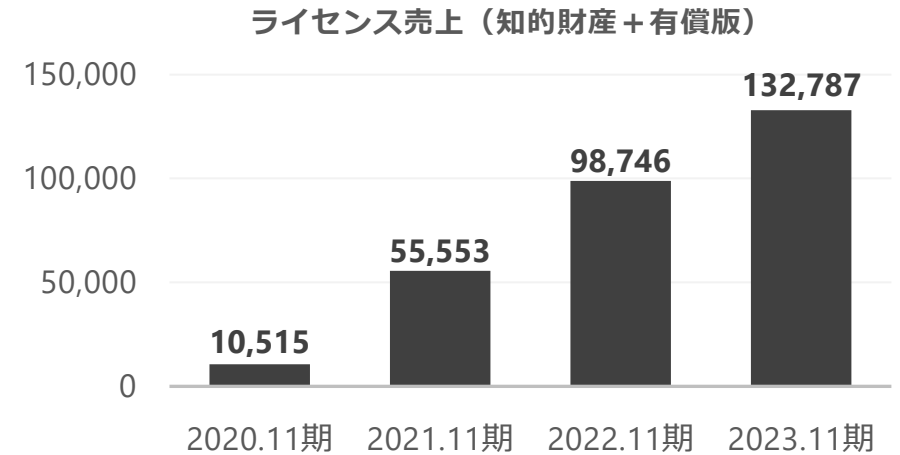
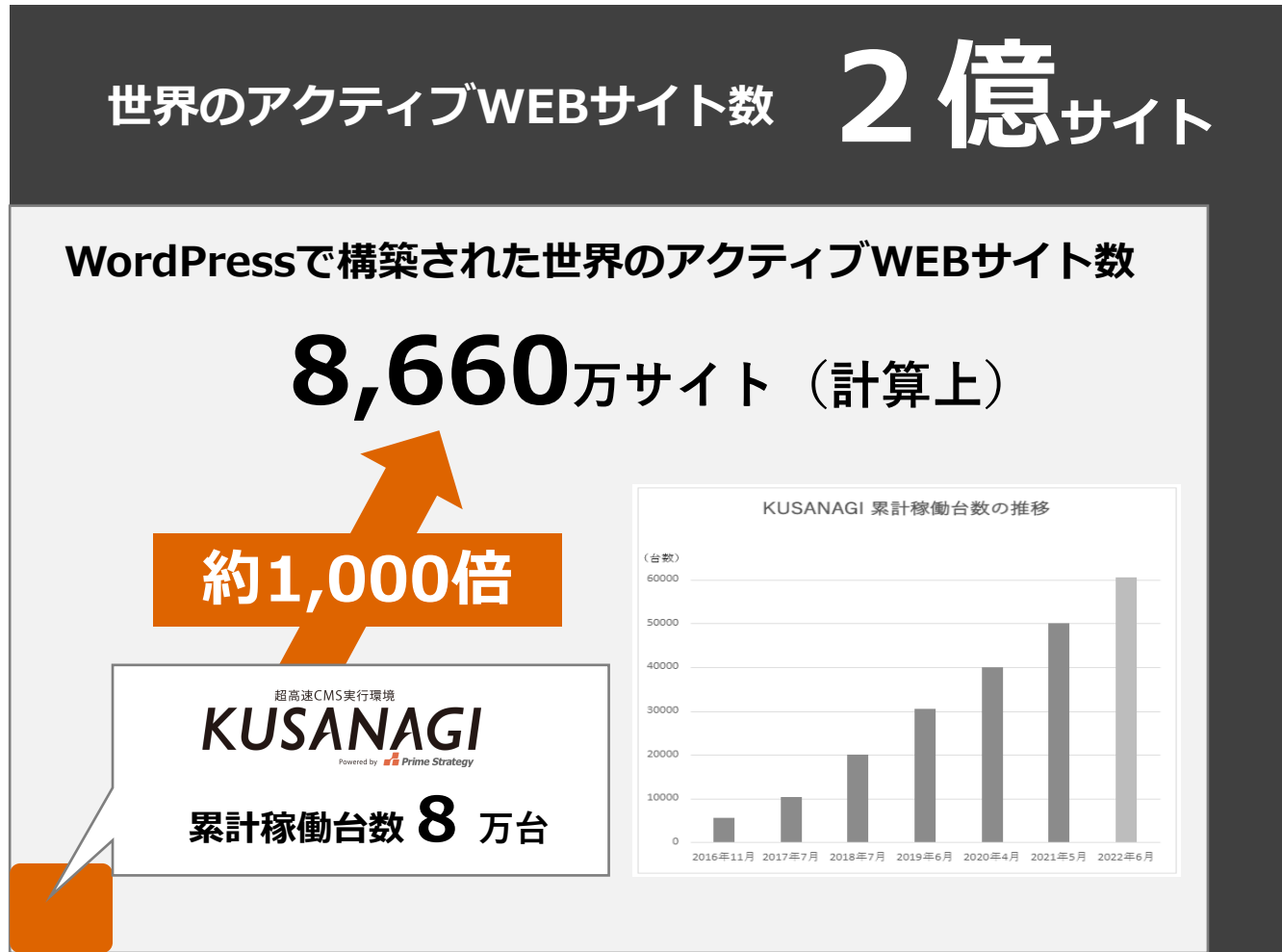
＝ 国内主要ターゲットにおける
最大売上想定

1,673億円

ターゲット顧客 (3,930社 + 26,779社) × 顧客単価454千円/月 × 12ヶ月

グローバルで見たKUSANAGIライセンスの潜在市場

KUSANAGIマネージドサービスだけでなく、KUSANAGI有償版及び知的財産の提供についても高い成長が見込まれます。
KUSANAGI導入サイトは全体の一部であり、認知度向上から利用増・売上増が見込めます。



132,787 千円

×

成長可能性 約1,000倍

グローバルでのライセンス売上の高い成長が見込まれる

1. 会社紹介

2. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

3. 成長戦略

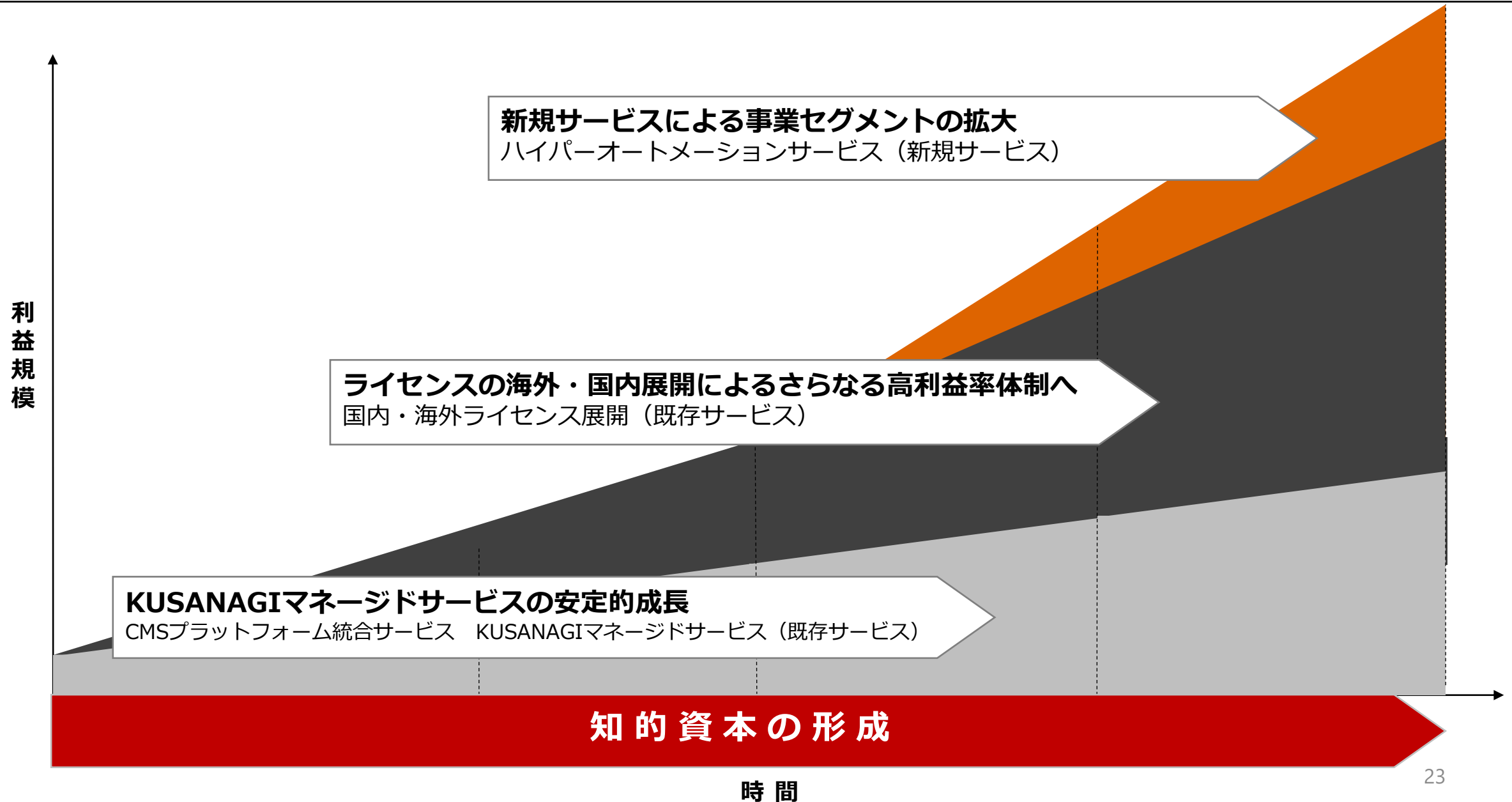
4. 四半期ハイライト

成長戦略3分野

CMSプラットフォーム統合サービスの展開

国内・海外ライセンス展開

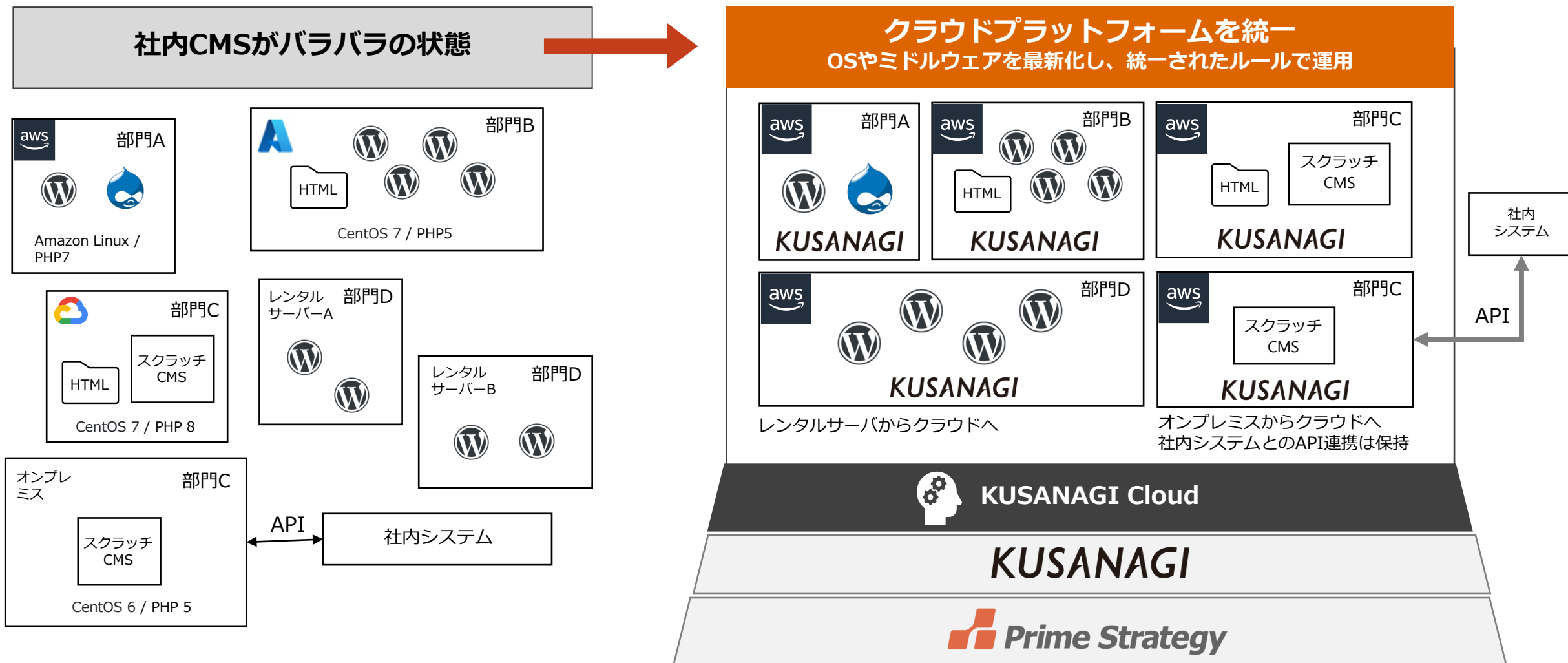
ハイパーオートメーション



短期的展開～CMSプラットフォーム統合サービス

上場企業を中心に、部門・グループ・サービスサイトなど、増え続けるCMSの運用プラットフォームを統合し、共通の運用ルールのもとで高速に、安全に運用するサービス

デジタルガバナンスのニーズ



短・中期的展開～国内・海外ライセンス展開



Microsoft Azure

aws

Google Cloud Platform

合計29クラウド事業者

2024年2月現在

特許協力条約の規定による国際出願済み

戦略AI **David**

ウェブコンテンツの自動高速表示制御方法

[ウェクサル] **WEXAL**[®]
Page Speed Technology

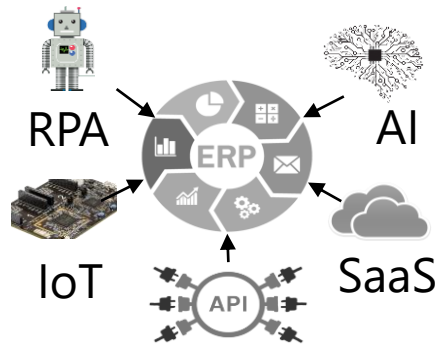
ウェブコンテンツの自動表示制御方法

地域	知財提携	マーケットプレイス
日本	2社	◎
アジア	TBD	◎
北米	TBD	◎
大洋州	TBD	○
中南米	TBD	○
欧州	TBD	◎
中東	TBD	○
アフリカ	TBD	○

提携先企業の開拓を実施

KUSANAGI Cloudで培ったハイパーオートメーション技術の他社展開

注目されている技術である「ハイパーオートメーション」はKUSANAGI Cloud上で多く利用され、社内の技術的蓄積が進んでいる。技術を顧客企業向けに展開し、ハイパーオートメーション事業として育てていく。



ハイパーオートメーション
KUSANAGI Cloud
AIによる自動化と的確なエスカレーション

社内ハイパー
オートメーション技術



顧客企業

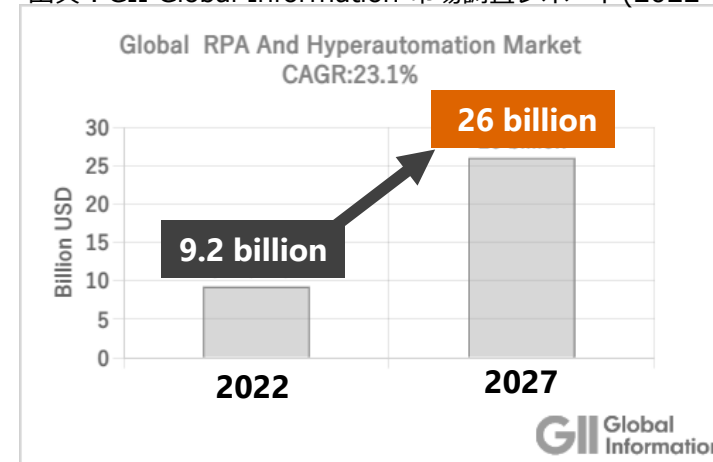
[Gartner、2022年の戦略的テクノロジーのトップ・トレンドを発表](#)

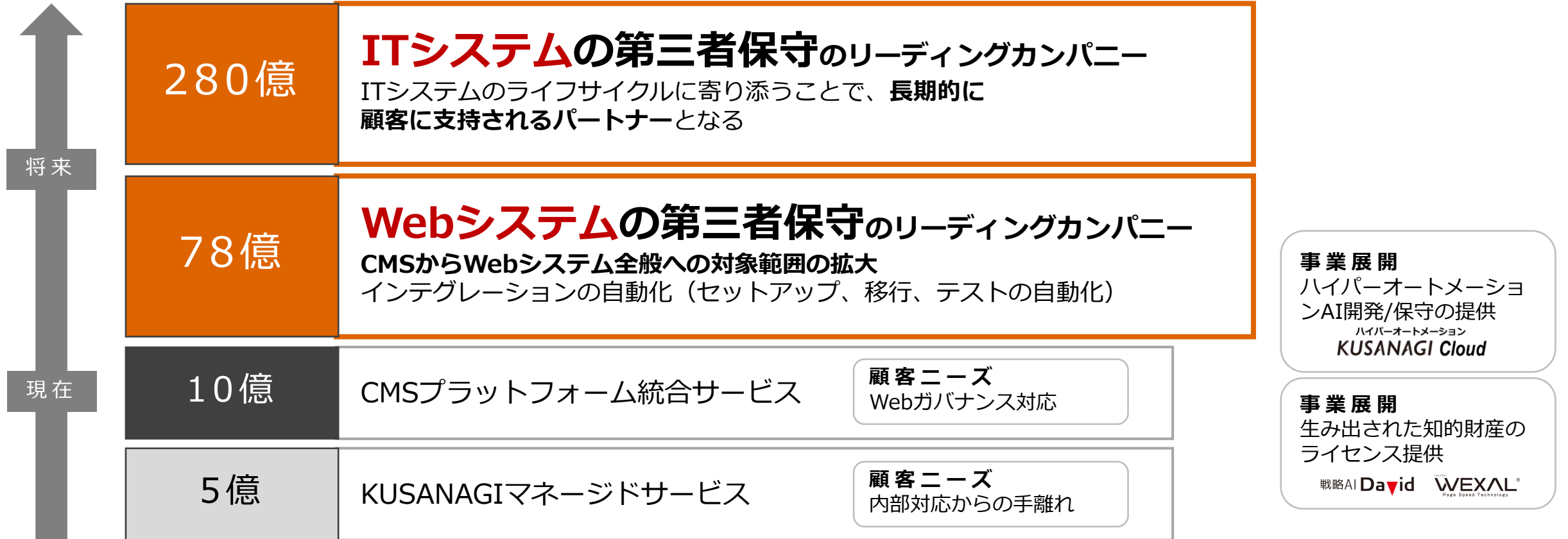
出典：Gartner (2021年11月)

Gartnerの 2022年の 戦略的 テクノロジーの トップ・トレンド	ジェネレーティブAI	成長を加速する
	オートミック・システム	
	トータル・エクスペリエンス	
	分散型エンタプライズ	
	AIエンジニアリング	変化を形づくる
	ハイパーオートメーション	
	意思決定インテリジェンス	
	コンポーザブル・アプリケーション	信頼を構築する
	クラウド・ネイティブ・プラットフォーム	
	プライバシー強化コンピューテーション	
サイバーセキュリティ・メッシュ		
データ・ファブリック		

[RPAおよびハイパーオートメーションの世界市場](#)

出典：GII Global Information 市場調査レポート(2022年6月10日)





プライム・ストラテジーの強み

AIカンパニーとしての
オリジナルAIの開発力

KUSANAGIに代表
されるOSの開発力

多様なプラットフォーム
との提携と理解

WordPress
開発の実績

1. 会社紹介

2. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

3. 成長戦略

4. 四半期ハイライト

主要数値情報・KPI

四半期P/Lサマリー

コスト構造 2024.11期 1Q

四半期推移

B/Sサマリー

成長戦略進捗状況

売上高 (2024.11期1Q実績 [連結])

2.0億円

2023.11期
8.7 億円

KUSANAGIマネージドサービス
顧客数 (2024年2月時点 [単体])

107社

2023年11月時点
109社

KUSANAGI累計稼働台数
(2023年10月時点)

8万台

営業利益率 (2024.11期1Q実績[連結])

21.6%

2023.11期
32.8%

KUSANAGIマネージドサービス
顧客単価 (2024年2月時点 [単体])

454千円/月

2023年11月時点
434千円/月

KUSANAGI提供プラットフォーム
(2024年2月時点)

世界**37**ヶ国**216**地域

29プラットフォーム

ストック型売上高割合
(2024.11期1Q実績[連結])

87.8%

2023.11期
84.4%

KUSANAGIマネージドサービス
MRR (2024年2月時点 [単体]) (注1)

48,628千円

2023年11月時点
48,643千円

ライセンス提供
MRR (2023年2月時点 [連結]) (注1)

11,337千円

2023年11月時点
11,476千円

(注1) MRR (月次経常収益) : 翌月以降も継続して売上が見込める数字

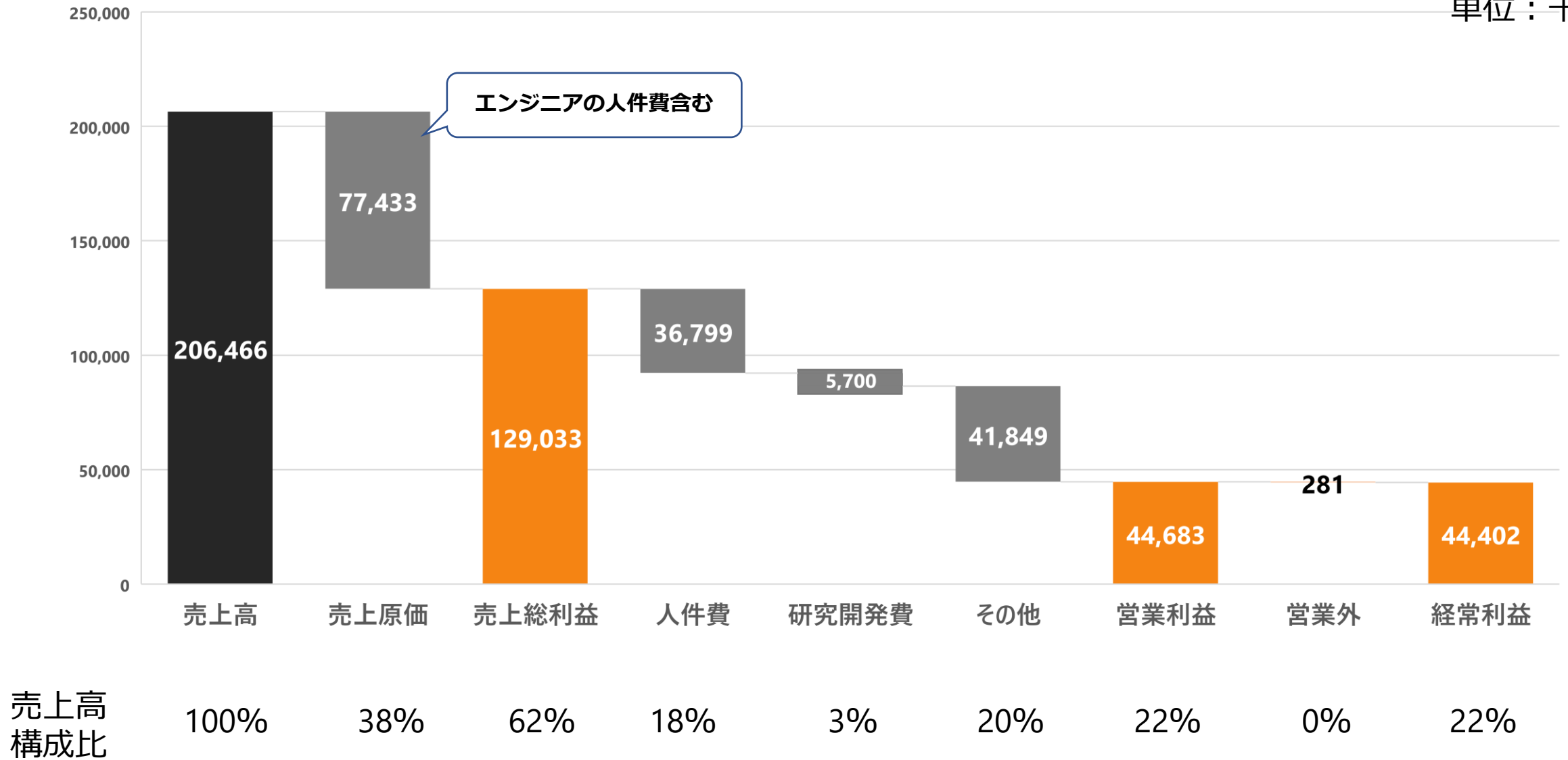
四半期P/Lサマリー

2023年12月に中型顧客の解約があり、また新規の積み上げも計画どおりに実現できなかったことから、1Qの売上高は計画比下振れとなった。クラウドインテグレーションサービスが前年同期比で30%程度減少しているのは、前年同期に大きなインテグレーションがあったため、また前四半期比でも40%程度減少しているのは、期末の2023年11月に多くのインテグレーションの受注及び請求があったため、その反動である。

(千円)	2024.11期-1Q					2024.1期-1Q累計			【参考】 2024.11期 (通期計画)
	前年同期	前四半期	当期	前年同期比	前四半期比	前年同期	当期	前年同期比	
売上高	222,678	224,111	206,466	92.7%	92.1%	222,678	206,466	92.7%	1,016,260
KUSANAGIマネージドサービス (ストック売上高)	155,430	147,022	146,982	94.6%	100.0%	155,430	146,982	94.6%	629,537
クラウドインテグレーションサービス (フロー売上高)	35,267	42,442	25,252	71.6%	59.5%	35,267	25,252	71.6%	245,672
ライセンス販売 (ライセンス売上高)	31,980	34,646	34,231	107.0%	98.8%	31,980	34,231	107.0%	141,050
原価	67,409	79,911	77,433	114.9%	96.9%	67,409	77,433	114.9%	313,616
売上総利益	155,268	144,200	129,033	83.1%	89.5%	155,268	129,033	83.1%	702,644
販管費及び一般管理費	72,530	78,895	84,349	116.3%	106.9%	72,530	84,349	116.3%	319,550
営業利益	82,738	65,305	44,683	54.0%	68.4%	82,738	44,683	54.0%	383,093
経常利益	62,169	65,051	44,402	71.4%	68.3%	62,169	44,402	71.4%	381,662

コスト構造 2024.11期1Q

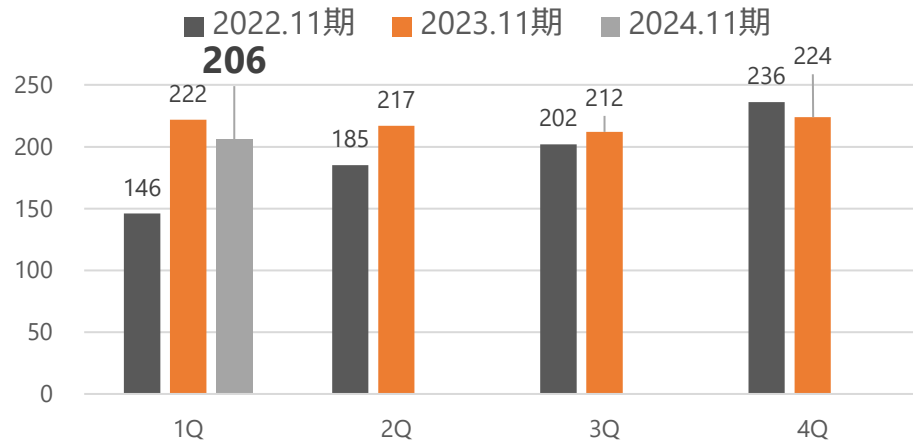
単位：千円



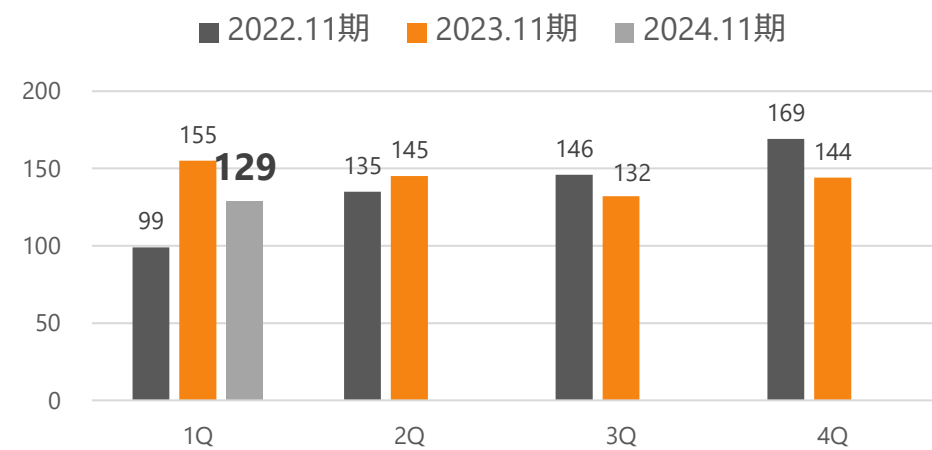
四半期推移（全体）

単位：百万円

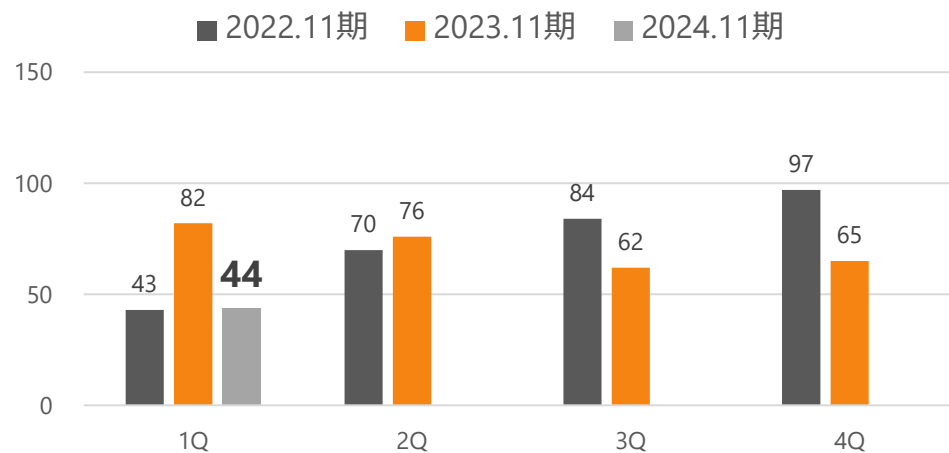
売上高の推移



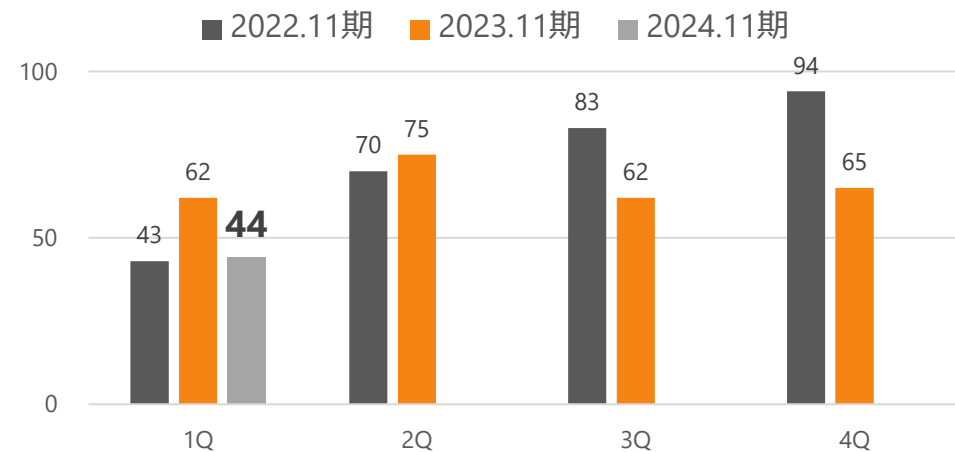
売上総利益の推移



営業利益の推移



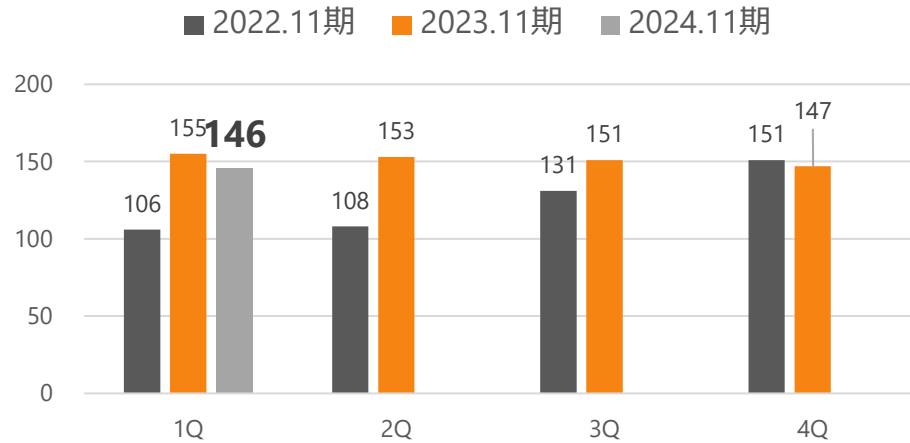
経常利益の推移



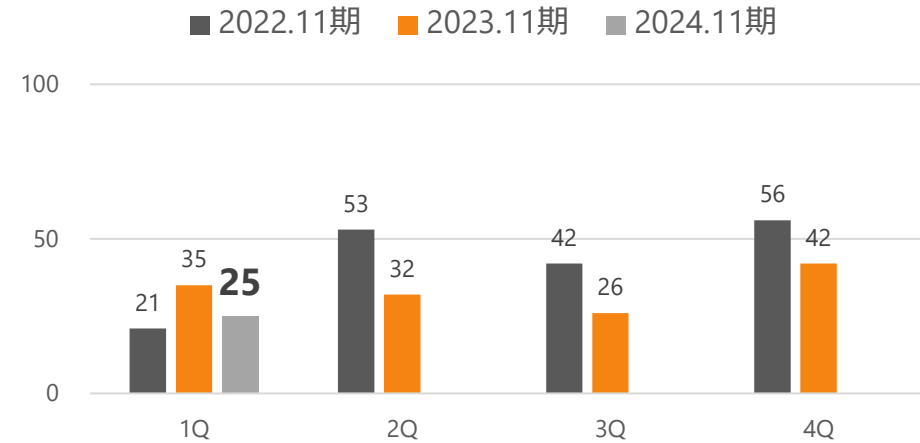
※各四半期の数値は、連結会計期間の数値となります。

四半期推移（サービス別）

KUSANAGIマネージドサービス 売上高の推移

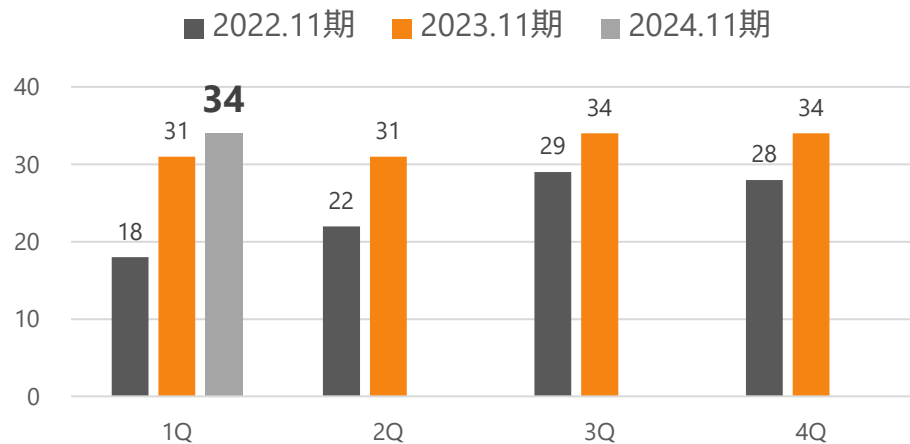


クラウドインテグレーションサービス 売上高の推移



単位：百万円

ライセンス販売 売上高の推移



※各四半期の数値は、連結会計期間の数値となります。

B / S サマリー

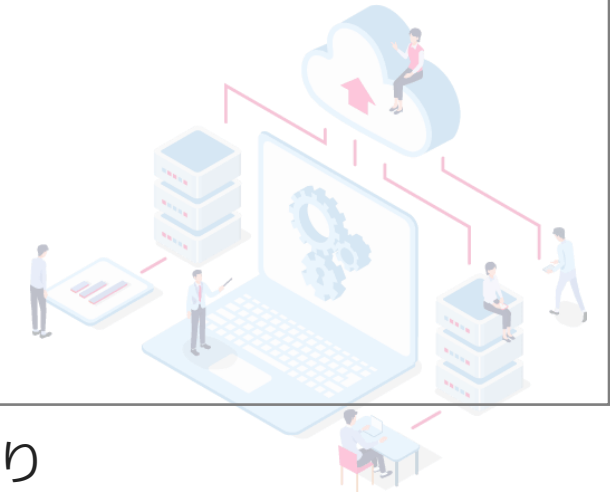
	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
現金及び預金	1,326,025	1,346,795
売掛金	86,736	75,712
その他	31,061	29,959
流動資産合計	1,443,823	1,452,466
有形固定資産	1,620	1,442
無形固定資産	28,661	27,975
投資その他の資産	28,060	26,255
固定資産合計	58,342	55,673
資産合計	1,502,165	1,508,139

単位：千円

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
買掛金	19,870	18,243
1年内返済予定の長期借入金	28,840	43,333
その他	100,214	95,786
流動負債合計	148,924	157,362
長期借入金	54,279	79,937
固定負債合計	54,279	79,937
負債合計	203,203	237,299
純資産の部		
資本金	429,394	434,009
資本剰余金	389,529	394,144
利益剰余金	474,181	436,331
自己株式	△ 96	△ 96
株主資本合計	1,293,008	1,264,388
その他の包括利益累計額	5,953	6,451
純資産合計	1,298,961	1,270,839
負債純資産合計	1,502,165	1,508,139

短期的展開 : CMSプラットフォーム統合サービス

- 事例を活用した大型案件の獲得に向けたアプローチ（継続）
- 営業代行会社との連携による新規顧客の開拓（継続）
- パートナー施策を中心とした新規顧客接点の拡大（継続）
- 顧客満足度アンケートの実施による既存顧客へのリテンション施策（新規）
- マーケティング顧問の吉政忠志氏がCMO（Chief Marketing Officer）に就任



吉政忠志CMO

当社の元マーケティング担当取締役であり、当社の黎明期よりマーケティング支援をいただいております。この度、吉政忠志氏には当社のマーケティング戦略の立案と実行を担当いただきます。

吉政忠志氏プロフィール

国内外の上場企業でのマーケティング責任者を経験。2010年にマーケティングアウトソーシング専門会社である吉政創成株式会社を創業し、代表取締役に就任。国内外の上場企業を中心にマーケティングアウトソーシングサービスを提供している。一般社団法人Pythonエンジニア育成推進協会 代表理事、PHP技術者認定機構 理事長、Rails技術者認定試験運営委員会 理事長、一般社団法人日本ネットワーク技術者協会 代表理事を歴任し、国内のOSS系主要認定試験を複数主宰。

KUSANAGI マネージドサービス

2023.11期3Qに新規営業担当者の採用及び営業代行会社との契約を実施し、新規営業担当者の採用のほうに効果があると判断し、新規に営業担当者の採用を予定している。商談数の積み上げ及び解約率の改善を狙っていく。



KUSANAGIマネージドサービス推移

	2020.11期	2021.11期	2022.11期	2023.11期	2024.11期 1Q
MRR (百万円)	36	35	51	48	48
顧客数 (社数)	125	114	114	109	107
新規顧客数	17	14	10	9	2
解約顧客数	37	25	10	14	4
顧客単価 (千円)	292	301	363	446	454
解約率 (%)	1.9	1.5	0.7	1.0	1.2
サイト数	-	-	267	269	266

解約率：期間内の解約数(4社)を期間内の総顧客数(112社)で割り、月次平均に均したもの（カッコ内は2024.11期の数値）

短・中期期的展開：国内・海外ライセンス展開

- ドイツで開催されるAlmaLinux Dayの基調講演にスピーカーとして参加を決定
- 国内プラットフォーム事業者と技術検証・商談を継続
- 海外プラットフォーム等の事業者との技術検証・商談を継続
- 国内既存契約においては契約内容等の見直しを準備
- 顧問に就任いただいたグーグル出身の金谷武明氏と共に、知的財産権の海外ライセンス展開に向けたマーケティングを継続
- KUSANAGI 9の新規提供プラットフォームとして「シン・VPS」が追加

Xserver VPS、シン・VPSで
「KUSANAGI 9
(CentOS Stream 9
AlmaLinux 8/9)」の提供開始

KUSANAGI



中期的展開：ハイパーオートメーション

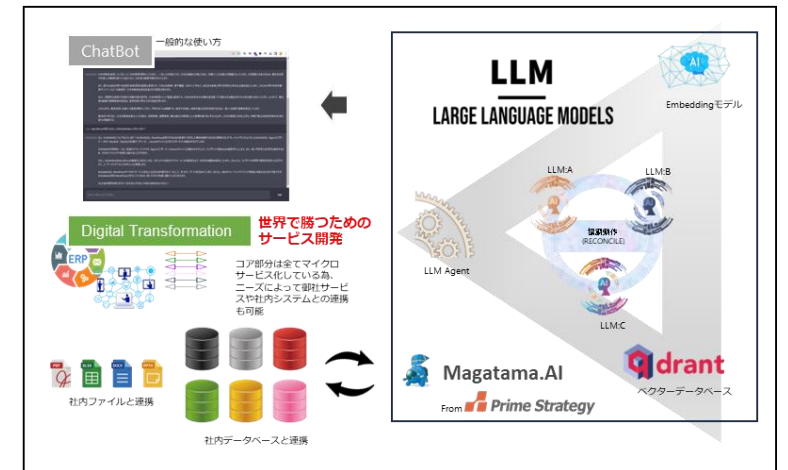
- 完全ローカル環境でのLLM実行環境導入・保守サービス提供開始

完全ローカル環境でのLLM実行環境導入・保守サービス

LLM(AI)活用に向けてのコンサルティングから実装までを一気通貫にてサポートし、導入企業自身のサービスのAIによる高度化や持続可能な組織作りを支援いたします。



システム構成



サービス展開の背景

国内の生成AIに関するサービスもChatGPTやGeminiなど海外事業者のサービスを裏で利用するものが多く、国内企業の活動が海外AIサービスに依存してしまう構造となっています。また、オープンソース(OSS)で公開されている生成AI関連の技術についても扱える技術者が少なく、国内での活用が進んでいない状況です。オープンソースの生成AI及びLLM操作の技術提供し、日本全体のDX化・AIカンパニー化に寄与していきたいと考え展開することといたしました。

通期の業績予想の変更はありません。なお売上高・各利益項目とも下振れして着地する見込みです。

売上高/KPIの見通し

通期業績予想は据え置き

ライセンス販売は概ね計画通りに推移しておりますが、KUSANAGIマネージドサービスの新規契約の積み増し不足により、計画より下振れする見込み。
顧客数も当初計画より下振れで着地見込み。

利益/費用の見通し

営業体制増強に向けて原価及び広告宣伝費の増加

KUSANAGIマネージドサービスの新規契約の積み上げを目的として営業担当者の増員、KUSANAGIの世界的認知の拡大及び海外ライセンス契約の実現に向けて海外マーケティングの充実のために、原価及び広告宣伝費の追加投入を予定。

- 本資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。
- 本資料には、将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます。）が含まれる場合があります。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。本資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている 将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。
- 上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。
- 本資料は、本資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社又は当社の代表者のいずれも、本資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社又は当社の代表者のいずれも、本資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。
- また、当社以外の事項・組織に関する情報が含まれる場合があります。当該情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。
- 本資料に記載しておりますKUSANAGIや他のOSの性能評価で利用した具体的環境は以下のとおりです。

（環境1） AlmaLinux 8.9

Microsoft Azure Standard D4as_v5インスタンス (3.24Ghz AMD EPYC 7763 プロセッサ 4 vCPU, 16GiB), Premium SSD LRS, 東日本リージョン, PHP 8.0.30, Nginx 1.20.1, MariaDB 10.5.22, WordPress 6.4.2

（環境2） KUSANAGI 9.4.8-1

Microsoft Azure Standard D4as_v5インスタンス (3.24Ghz AMD EPYC 7763 プロセッサ 4 vCPU, 16GiB), Premium SSD LRS, 東日本リージョン, PHP 8.0.30, Nginx 1.25.3, MariaDB 10.5.23, WordPress 6.4.2

（環境3） AlmaLinux 8.9

Microsoft Azure Standard D4s v4 インスタンス (2.60GHz Intel(R) Xeon(R) Platinum 8272CL CPU プロセッサ 4vCPU, 16GiB), Premium SSD LRS, 東日本リージョン, 高速ネットワーク有効, PHP 8.0.30, Nginx 1.22.1, MariaDB 10.5.22, WordPress 6.4.3

（環境4） KUSANAGI 9.4.12-1.el8 (AlmaLinux 8.9)

Microsoft Azure Standard B2s インスタンス (2.30GHz Intel(R) Xeon(R) CPU E5-2673 v4 プロセッサ 2vCPU, 4GiB), Standard HDD LRS, 東日本リージョン, 高速ネットワーク無効, PHP 8.0.30, Nginx 1.25.4, MariaDB 10.5.24, WordPress 6.4.3

（環境5） KUSANAGI 9.4.12-1.el8 (AlmaLinux 8.9)

Microsoft Azure Standard D32as v4 インスタンス (AMD EPYC 7452 32-Core プロセッサ 32vCPU, 128GiB), Premium SSD LRS, 東日本リージョン, 高速ネットワーク有効, PHP 8.3.4, Nginx 1.25.4, MariaDB 10.11.7, WordPress 6.4.3



KUSANAGI